

3-11 Hoshigadai, Tajimi City, Gifu Pref., 507-0811 JAPAN

TEL.+81-572-22-5381 / FAX.+81-572-25-1163

URL:<http://www.ceram.rd.pref.gifu.lg.jp>Mail:info@ceram.rd.pref.gifu.jp

Gifu Prefectural Ceramics Research Institute

岐阜県セラミックス研究所

since 1911

TM

■平成25年度補正「中小企業・小規模事業者 ものづくり・商業・サービス革新事業」について 予算案1,400億円

2013年12月12日に、平成25年度補正予算案が閣議決定されました。この内、経済産業省で、「中小企業・小規模事業者ものづくり・商業・サービス業革新事業(新ものづくり補助金)」が新設されることとなりました。つきましては県下中小企業の積極的な応募を支援いたします。

●事業概要

革新的なものづくり・サービスの提供等にチャレンジする中小企業・小規模事業者に対し、試作品の開発やそのための設備投資等を支援し、競争力強化・経済活性化を実現していくもの。

※平成24年度補正「ものづくり補助金(ものづくり中小企業・小規模事業者試作開発等支援補助金)」を再構築した事業

昨年度実績(全国):23971件提案中、10516件採択

●提案に関する条件

認定支援機関※に事業計画の実効性等が確認された中小企業・小規模事業者であり、以下の要件のいずれかを満たす者

- (1)「中小ものづくり高度化法」に基づく特定ものづくり基盤技術(22分野)※を活用していること
- (2)革新的なサービスの提供等を行い、3～5年計画で「付加価値額」年率3%及び「経常利益」年率1%の向上を達成する計画であること
- (3)発注元事業所の閉鎖・縮小により10%以上売上減少が見込まれること
- (4)耐用年数超過設備の新陳代謝を目的とした大規模(総資産15%超)計画であり、地域金融機関からの融資や事業計画策定支援等を受けること

※認定支援機関について <http://www.chubu.meti.go.jp/chuki/sesaku/kyokahou/ruikei/zenkikan.html>

※特定ものづくり基盤技術 <http://www.chusho.meti.go.jp/keiei/sapoin/2012/download/shishin/sall.pdf>

陶磁器・セラミックスに関連する分野は粉末冶金、塗装等を想定

●事業

1. 成長分野型 補正上限額:1500万円(補助率2/3)

※設備投資以外に充てられる補助限度額が500万円

○環境等の成長産業参入に対する試作品開発、設備投資等が対象

(例)電子基板からレアメタルを効率的に回収する分離破碎機の開発

2. 一般型 補助上限額:1000万円(補助率2/3)

※設備投資以外に充てられる補助限度額が500万円

○成長産業以外の分野における試作品開発や設備投資等が対象

(例)自動車・産業機械用鋳造部品の新規受注獲得を目指すための3Dデータや3Dモデルの作成・利用技術

3. 小規模事業者型 補助上限額:700万円(補助率2/3)

○設備投資を伴わない開発費用を支援

(例)衣服情報の電子カルテ化

水洗いとドライクリーニングの長所を併せ持った新たな洗浄技術の導入

4. 新陳代謝型

金融機関から借入を行い老朽化に対処した大規模設備投資を行う場合、金融機関のモニタリング実績に応じ、借入額の1%相当を上限に設備投資費を補助。

なお、こちらの公募日程や説明会などについて、詳細な内容がわかり次第、ご案内いたします。

■「陶&くらしのデザイン展2013」と「ニューセラミックフェア2013」に出展しました



当所は「陶&くらしのデザイン展2013」と、同時開催された「ニューセラミックフェア2013」へ出展しました。

「陶&くらしのデザイン展」は、今回で通算50回目の開催となり、デザインや技術が人々の生活を潤すとともに、産業の活性化に寄与している姿を実感してもらうことを目的に毎年開催されている展示会です。比較的規模が大きく、その年の最初に開催される「本展」が瀬戸市で行われた後に、全国を巡回する「巡回展」の一つである岐阜展が、10月19日(土)から10月21日(月)までセラミックパークMINOにおいて開催されました。

■「染付研修」を開催しました

岐阜県陶磁器デザイン協議会主催で当所共催の技術講習会「スケッチから始める染付」を4月19日(金)から6月14日(金)までの8日間と10月4日(金)から12月13日(金)までの10日間、当所で開催しました。



同研修会は、産地メーカー等の技術力向上を図ることを目的として企画されました。岐陶工連組合員事業所のデザイナーなど前期18名、後期17名の方が参加しました。瀬戸染付研究所の大谷昌弘氏を講師に招いて、染付の説明、スケッチの仕方、筆の使い方などを学びました。

瀬戸染付は、主に花を中心として自然のモチーフを写実的に描く染付けで、模様展開の基礎である植物スケッチに焦点を当てた研修を行いました。実際の植物を丹念にスケッチし、構図を考えて、素焼きに面相筆とダミ筆を使い絵付けを施しました。模様作成の基礎となるスケッチを会得すれば、花の模様化が行え作品のクオリティを上げることが可能となります。



岐阜県陶磁器デザイン協議会とは…

岐阜県陶磁器デザイン協議会は昭和34年に発足。美濃地域の陶磁器デザイン向上を目的として、陶磁器関連組織・企業を中心に構成されています。デザイン関連の技術研修や見学会、講演会の開催などを中心に活動しています。

事務局
岐阜県陶磁器工業協同組合連合会

■講演会を開催しました

岐阜県陶磁器デザイン協議会主催で当所共催の技術講演会「料理のディレクションと食器」を10月18日(金)に当所で開催しました。

同講演会は、美濃焼メーカーをはじめ産地商社、デザイナーなどのデザイン力向上を図ることを目的として企画されました。今回は料理家の山田英季(ひですえ)氏を講師に招いて、アートの領域に達したともいえるフードケータリングについてご講演いただきました。

多様な視点を持つ同氏は、郷土料理の保存や発展にも興味を持たれ、様々なメディアにレシピを提供。開催したケータリングの紹介や料理・食器にまつわる情報など、今後の業務の一助となる話題をご提供いただきました。

■「ものづくり岐阜テクノフェア2013」へ出展しました

11月1日(金)、2日(土)にセラミックパークMINO(多治見市東町4-2-5)で開催された展示会「ものづくり岐阜テクノフェア2013」の研究機関ゾーンへ当所から出展しました。



同展示会は、伝統的産業から最先端技術までの新たなビジネスマッチングの場を創出することを目的として、岐阜県工業会が主催し、毎年開催している展示会。現地にはおよそ150ブースの出展があり、2日間を通して約2万人の来客で賑わいました。

当所からは、リサイクル食器とチタン酸アルミニウムを用いた casting 用部材のマイクロ波焼成についての展示を行いました。

〒507-0811

岐阜県多治見市星ヶ台3-11

電話:(0572)22-5381 FAX:(0572)25-1163

URL: <http://www.ceram.rd.pref.gifu.lg.jp>

Mail: info@ceram.rd.pref.gifu.jp